

小田原駅西口広場利用実態調査の結果について

1 調査の背景・目的

現在、小田原駅西口地区では、令和6年（2024年）3月に策定した「小田原駅西口地区基本構想」に基づき、西口広場の再編と隣接街区の再開発との一体的な整備を視野に、市と西口地区まちづくり協議会が連携しながら検討を進めている。

令和7年度（2025年度）は、広場の再編に向け、現況広場の利用者数やバス・タクシー、一般車等の利用台数の調査、広場の利用目的や将来必要となる機能等の把握を目的としたアンケート調査などにより、必要となる広場面積の算出に向けた基礎データを整理するため、西口広場の利用実態調査を行った。

2 調査項目について

(1) 広場の利用実態調査

- ア 西口広場に係る交差点の交通量・混雑状況調査
- イ 西口広場内を利用する車両台数・歩行者通行量調査
- ウ 自由通路における広場利用者数調査・乗降客数の資料調査

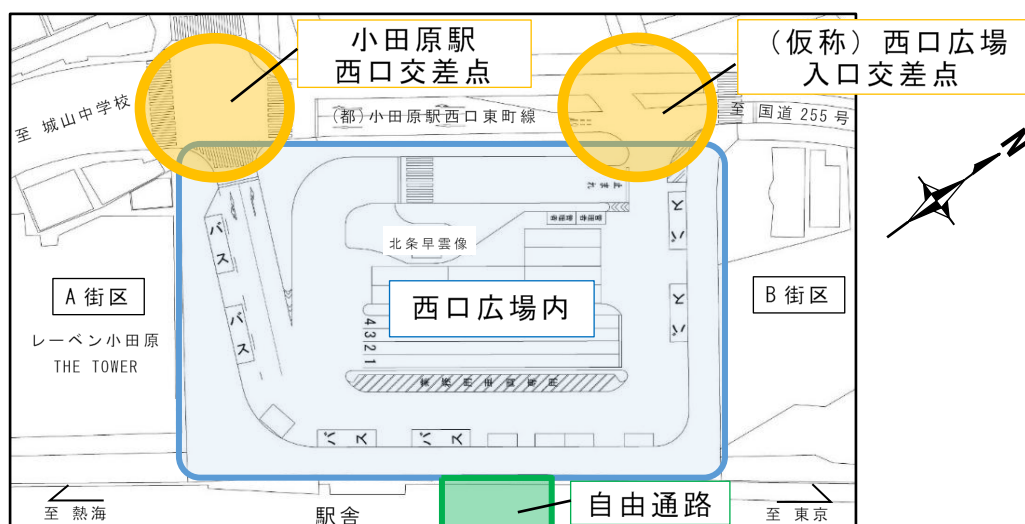
(2) 広場利用におけるアンケート調査

- ア 広場利用者（日常利用者・観光利用者）へのアンケート
- イ 小田原駅周辺の学校に通う高校生・学生へのアンケート

3 調査結果の概要について

(1) 広場の利用実態調査結果（晴天時調査）

- 調査日：令和7年11月20日（木）・11月23日（祝・日）
- 調査場所：西口広場に係る交差点（2箇所）・西口広場内・自由通路



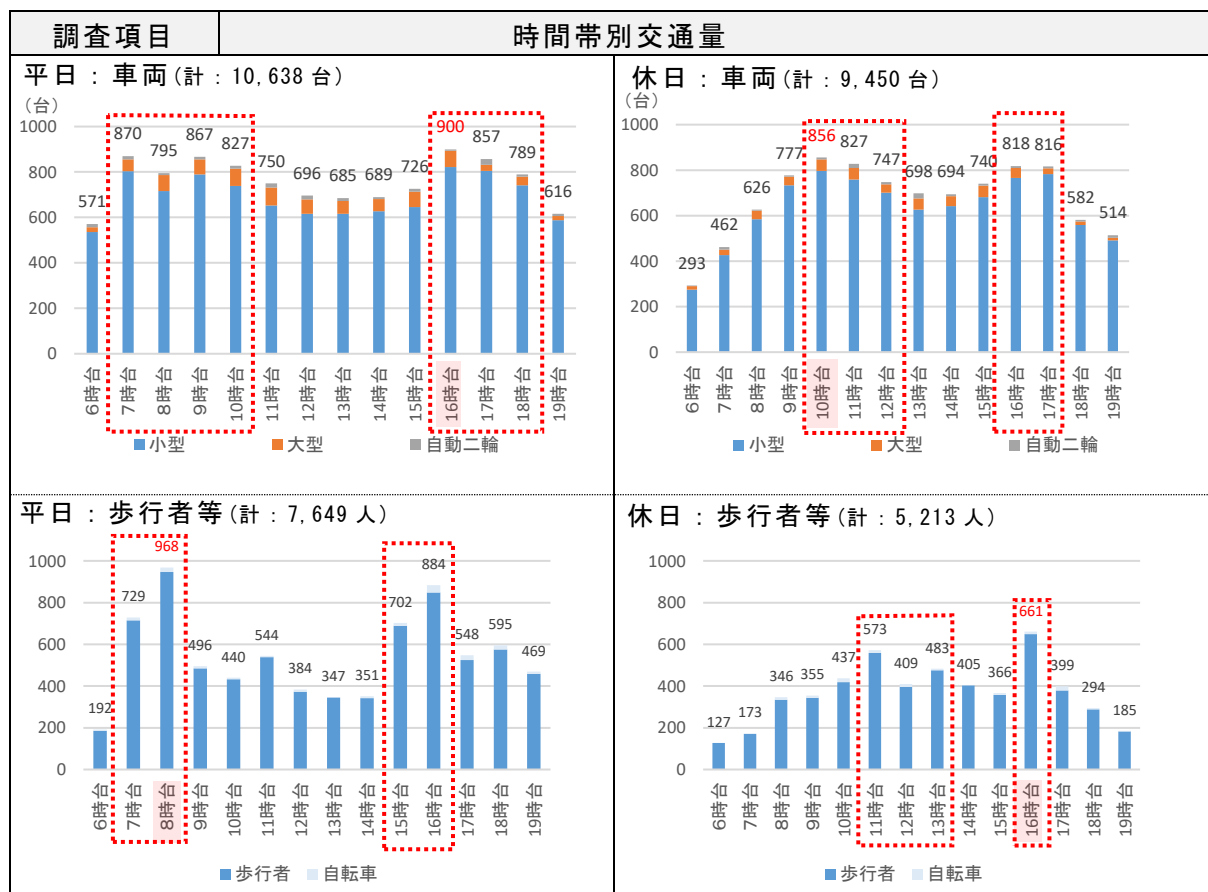
調査箇所図

ア 西口広場に係る交差点の交通量・混雑状況調査

調査目的	広場の出入口の交差点における車両・歩行者（自転車含む）の方向別交通量、滞留長・渋滞長を調査し、交差点付近や広場内の混雑発生要因を把握するための基礎資料とする。
調査時間	6 時～20 時（14 時間調査）
設定理由	広場の利用が多い時間帯である 7 時から 19 時の前後 1 時間を考慮した時間設定とした。

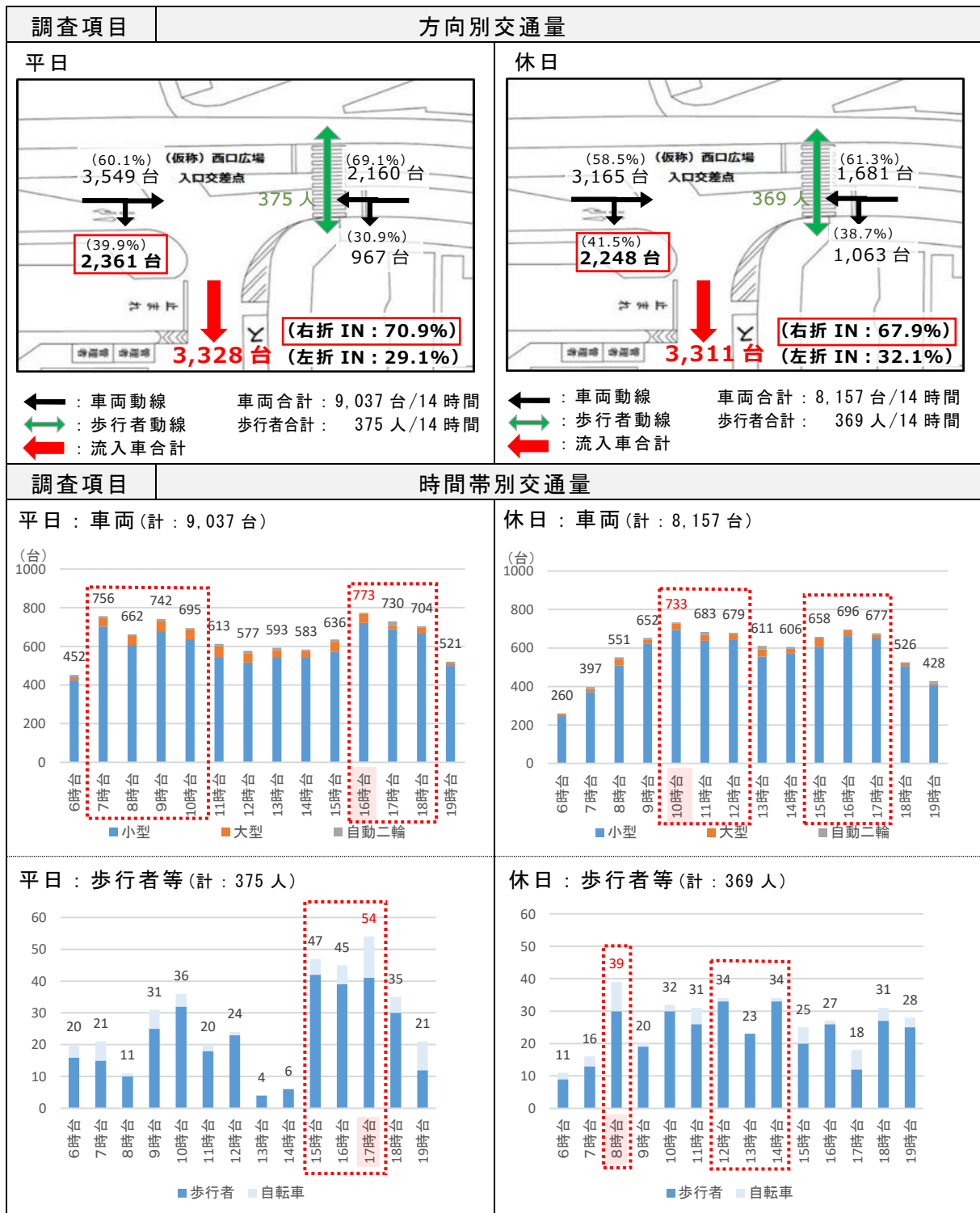
○小田原駅西口交差点

調査項目	方向別交通量	
平日	休日	
平日 車両動線 歩行者動線 流出車合計 車両合計：10,638 台/14 時間 歩行者合計：7,649 人/14 時間 流出車合計：3,340 台		
休日 車両動線 歩行者動線 流出車合計 車両合計：9,450 台/14 時間 歩行者合計：5,213 人/14 時間 流出車合計：3,303 台		



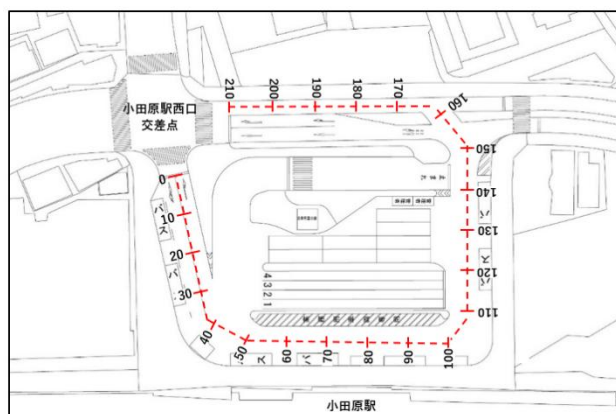
調査項目	車種別交通量（台）（広場からの流出）							
車 種	平 日				休 日			
	合計	左折	直進	右折	合計	左折	直進	右折
一般車	2,549 76.3%	585 (23.0%)	1,049 (41.1%)	915 (35.9%)	2,691 81.5%	604 (22.4%)	1,089 (40.5%)	998 (37.1%)
タクシー	482 14.4%	156 (32.4%)	148 (30.7%)	178 (36.9%)	395 12.0%	124 (31.4%)	151 (38.2%)	120 (30.4%)
路線バス	121 3.6%	13 (10.7%)	74 (61.2%)	34 (28.1%)	67 2.0%	8 (11.9%)	27 (40.3%)	32 (47.8%)
観光・送迎バス	180 5.4%	106 (58.9%)	39 (21.7%)	35 (19.4%)	147 4.4%	92 (62.6%)	26 (17.7%)	29 (19.7%)
自動二輪	8 0.3%	3 (37.5%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)	3 0.1%	1 (33.3%)	0 (0%)	2 (66.7%)
合 計	3,340 100%	863 (25.8%)	1,313 (39.3%)	1,164 (34.9%)	3,303 100%	829 (25.1%)	1,293 (39.1%)	1,181 (35.8%)

○（仮称）西口広場入口交差点



調査項目	車種別交通量（台）（広場への流入）					
車 種	平 日			休 日		
	合計	左折	右折	合計	左折	右折
一般車	2,538	808	1,730	2,701	936	1,765
	76.3%	(31.8%)	(68.2%)	81.6%	(34.7%)	(65.3%)
タクシー	479	115	364	393	92	301
	14.4%	(24.0%)	(76.0%)	11.9%	(23.4%)	(76.6%)
路線バス	124	19	105	68	10	58
	3.7%	(15.3%)	(84.7%)	2.0%	(14.7%)	(85.3%)
観光・ 送迎バス	178	22	156	146	22	124
	5.3%	(12.4%)	(87.6%)	4.4%	(15.1%)	(84.9%)
自動二輪	9	3	6	3	3	0
	0.3%	(33.3%)	(66.7%)	0.1%	(100%)	(0%)
合 計	3,328	967	2,361	3,311	1,063	2,248
	100%	(29.1%)	(70.9%)	100%	(32.1%)	(67.9%)

○広場内の滞留長・渋滞長

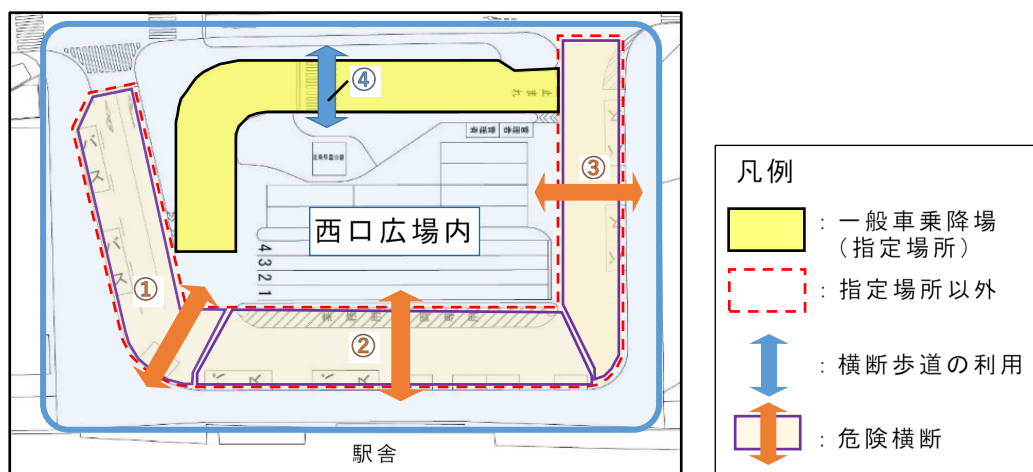


滞留長・渋滞長の目安

イ 西口広場内を利用する車両台数・歩行者通行量調査

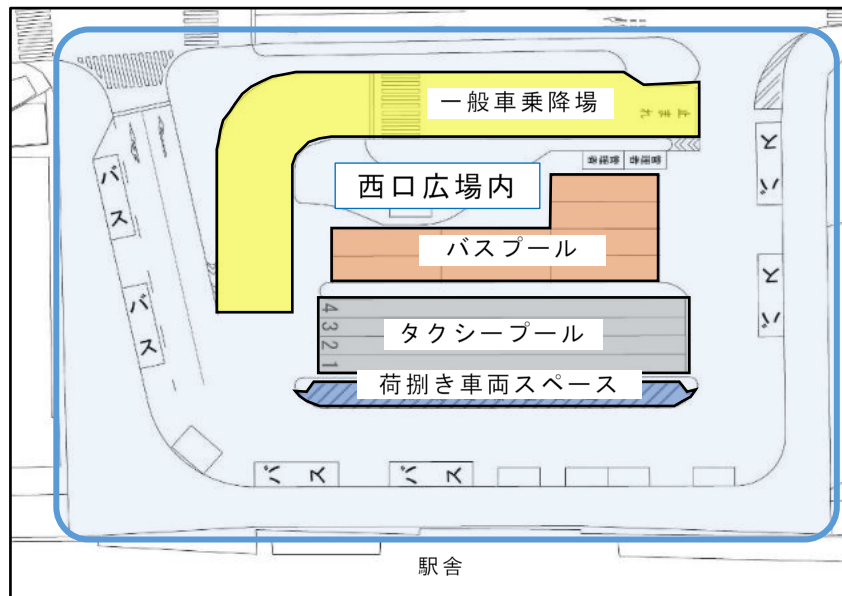
調査目的	広場内の車両台数と歩行者数を把握する。
調査時間	4時～翌2時（22時間調査）
設定理由	始発から最終電車までとその前後の状況を把握するため 22 時間調査とした。 ※小田原駅 始発電車⇒4:30 最終電車⇒25:00

○ 西口広場内の車種別利用台数・横断歩行者数



調査項目			調査結果			
			平 日		休 日	
車両台数			4,511 台	100%	4,299 台	100%
車 種	一 般 車		2,975 台	65.9%	3,178 台	73.9%
	一般車乗降場利用		745 台	25.0%	900 台	28.3%
	指定場所以外の利用		2,230 台	75.0%	2,278 台	71.7%
	タクシー		1,099 台	24.4%	807 台	18.8%
	路線バス		124 台	2.7%	68 台	1.6%
	観光・送迎バス		178 台	4.0%	128 台	3.0%
	荷捌き車両		85 台	1.9%	62 台	1.4%
	競輪場送迎バス		50 台	1.1%	56 台	1.3%
横断歩行者数			4,013 人	100%	4,266 人	100%
横断箇所	危険横断	①	270 人	6.7%	274 人	6.4%
		②	1,041 人	25.9%	1,368 人	32.1%
		③	501 人	12.5%	920 人	21.6%
		計	1,812 人	45.1%	2,562 人	60.1%
	横断歩道利用	④	2,201 人	54.9%	1,704 人	39.9%

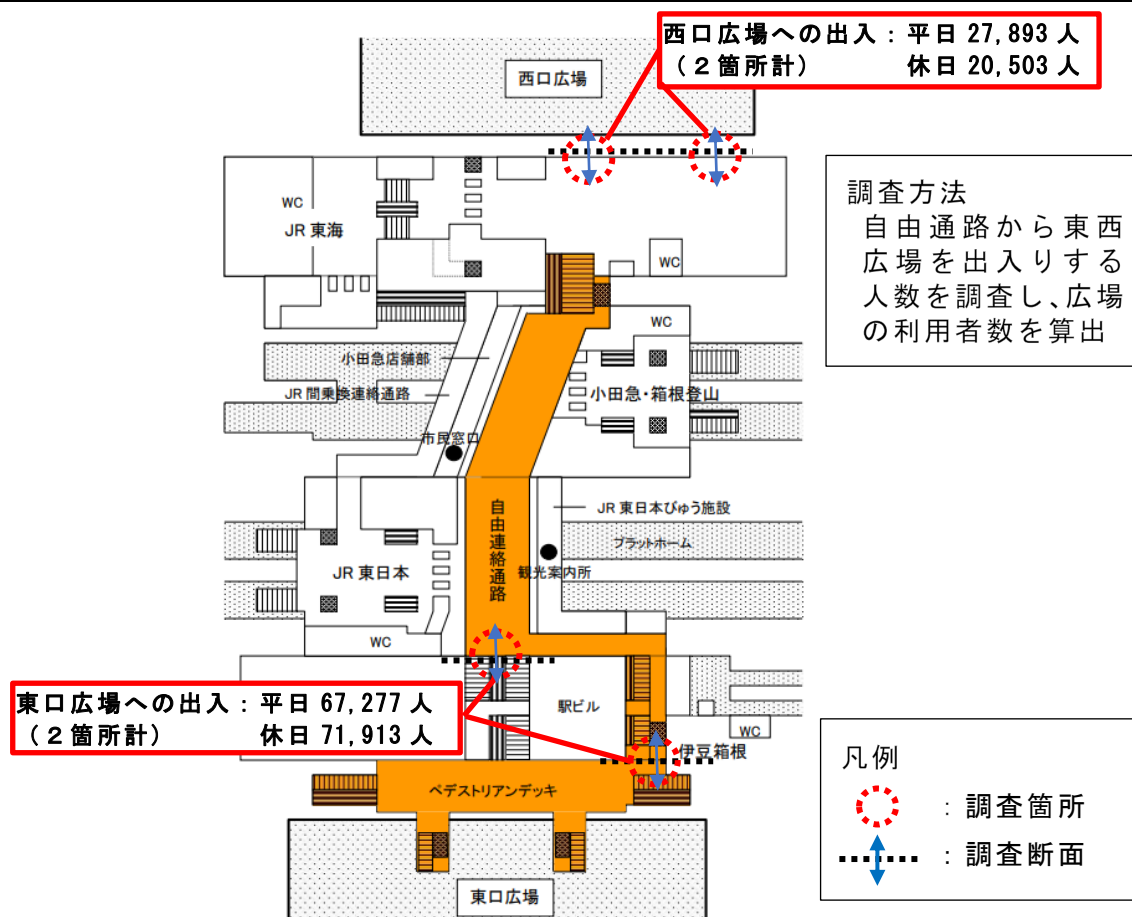
○ 各乗降場等の利用状況



調査項目		調査結果		
		収容台数	ピーク時停車台数(時間帯)	
			平日	休日
乗降場等	一般車乗降場	(区画なし) 11 台	17 台 (9時・16～17時台)	18 台 (10時台)
	バスプール (路線バス 観光・送迎バス)	(区画あり) 8 台	9 台 (10時～11時台)	7 台 (8時台)
	タクシープール	(区画あり) 28 台	12 台 (23時台)	17 台 (10時台)
	荷捌き車両 スペース	(区画なし) 5 台	6 台 (10時台)	5 台 (8時～10時台)

ウ 自由通路における広場利用者数調査・乗降客数の資料調査

調査目的	小田原駅における西口と東口の利用割合を把握する。
調査時間	6 時～20 時（14 時間調査）
設定理由	広場の利用が多い時間帯である 7 時から 19 時の前後 1 時間を考慮した時間設定とした。



○広場の利用者数

調査項目	調査結果（人/日）					
	平 日			休 日		
広場利用者	広場→駅舎	駅舎→広場	計	広場→駅舎	駅舎→広場	計
西 口	14,429	13,464	27,893	11,002	9,501	20,503
	29.0%	29.6%	29.3%	23.1%	21.2%	22.2%
東 口	35,246	32,031	67,277	36,690	35,223	71,913
	71.0%	70.4%	70.7%	76.9%	78.8%	77.8%
合 計	49,675	45,495	95,170	47,692	44,724	92,416
	100%	100%	100%	100%	100%	100%

○乗換の利用者数（広場に出ない鉄道利用者数）

調査項目	調査結果（人/日）					
	平 日			休 日		
① 広場利用者※ ¹	広場→駅舎	駅舎→広場	計	広場→駅舎	駅舎→広場	計
西 口	15,120	14,685	29,805	11,475	10,388	21,863
	29.1%	30.0%	29.5%	23.1%	21.8%	22.4%
東 口	36,829	34,287	71,116	38,226	37,328	75,554
	70.9%	70.0%	70.5%	76.9%	78.2%	77.6%
合 計	51,949	48,972	100,921	49,701	47,716	97,417
	100%	100%	100%	100%	100%	100%
② 鉄道乗降客※ ²	乗車	降車	計	乗車	降車	計
	69,740	65,543	135,283	67,881	59,884	127,765
乗換利用者の推計 （②－①）	—	—	34,362 25.4%	—	—	30,348 23.8%

※¹ 14時間の調査結果を基に、4時台～5時台及び20時台～25時台の推計値を含む。

※² 鉄道乗降客：各鉄道事業者から提供された11月20日及び11月23日のデータ
（東海道新幹線のみ、令和6年度の小田原駅の一日平均）

エ 晴天時と雨天時の比較

調査日	令和8年(2026年)2月25日（水）
調査時間	6時～9時、17時～20時（6時間調査）
調査目的	雨天時における広場内の車両及び歩行者の通行量や渋滞長を調査し、広場の利用状況を把握する。

○ 6 時～ 9 時の比較

調査項目		調査結果			
		晴天時 (11/20 (木))		雨天時 (2/25 (水))	
車両台数		954 台	100%	1,046 台	100%
車種	一般車	765 台	80.2%	884 台	84.5%
	一般車乗降場利用	75 台	9.8%	78 台	8.8%
	指定場所以外の利用	690 台	90.2%	806 台	91.2%
	タクシー	142 台	14.9%	119 台	11.4%
	バス	33 台	3.5%	25 台	2.4%
	荷捌き車両	14 台	1.4%	18 台	1.7%
横断歩行者数		873 人	100%	371 人	100%
横断箇所	危険横断	163 人	18.7%	164 人	44.2%
	横断歩道利用	710 人	81.3%	207 人	55.8%
最大渋滞長 (ピーク時) (小田原駅西口交差点から広場方向)		約 20m (7 時台)		約 120m (7 時台)	

○ 17 時～ 20 時の比較

調査項目		調査結果			
		晴天時 (11/20 (木))		雨天時 (2/25 (水))	
車両台数		752 台	100%	880 台	100%
車種	一般車	606 台	80.6%	771 台	87.6%
	一般車乗降場利用	141 台	23.3%	178 台	23.1%
	指定場所以外の利用	465 台	76.7%	593 台	76.9%
	タクシー	117 台	15.6%	94 台	10.7%
	バス	25 台	3.3%	11 台	1.3%
	荷捌き車両	4 台	0.5%	4 台	0.4%
横断歩行者数		299 人	100%	273 人	100%
横断箇所	危険横断	207 人	69.2%	211 人	77.3%
	横断歩道利用	92 人	30.8%	62 人	22.7%
最大渋滞長 (ピーク時) (小田原駅西口交差点から広場方向)		約 30m (17 時台)		約 10m (17 時台)	

(2) 広場利用に係るアンケート調査

ア 調査概要

利用者	日常利用者※ ¹ ・観光利用者※ ²	小田原駅周辺の学校に通う高校生・学生※ ³
調査期間	令和7年12月2日（火） ～ 12月15日（月）	令和7年12月3日（水） ～ 令和8年1月9日（金）
調査方法	Web 調査 （楽天インサイト）	Web 調査 （Google フォーム）
回答状況※ ⁴	日常利用者：400 人 観光利用者：400 人	高校生・学生：294 人
主な調査項目	・西口広場の利用しやすさ（交通手段別） ・西口広場の再編にあたり必要な機能 ・西口の駅前に求める施設 ・北条早雲像について ・西口広場に関して、使いづらいことや課題に感じていること ・西口広場の再編に向けた意見・要望	

※1 日常利用者：西口広場を通勤・通学、送迎、通院などで日頃から利用している方

※2 観光利用者：西口・東口を問わず、観光目的で駅前広場に来訪したことがある方

※3 小田原駅周辺の学校に通う高校生・学生

高校（3校）：新名学園旭丘高等学校・明德学園相洋高等学校・

県立小田原高等学校

大学（2校）：小田原短期大学・国際医療福祉大学

※4 回答状況：アンケートの有効数は、総務省統計局の計算式で算出すると384人の回答が必要とされている。

イ 調査結果

参考資料3－1のとおり

ウ 主な調査結果

調査項目	調査結果・主な意見
西口広場の 徒歩での 利用しやすさ	日常利用者8.8%、観光利用者4.1%、学生5.7%が「利用しづらい」側の回答であり、「一般車乗降場やバスプールから駅舎へ最短距離で移動できない」、「雨に濡れてしまう」といった意見が多かった。

西口広場の 自家用車での 利用しやすさ	日常利用者 22.3%、観光利用者 8.5%、学生 14.8%が「利用しづらい」側の回答であり、「一般車乗降場に停車できる台数が少ない」、「歩行者が危険横断する」といった意見が多かった。
西口広場の タクシー乗降場の 利用しやすさ	日常利用者 8.0%、観光利用者 4.4%、学生 2.7%が「利用しづらい」側の回答であり、「一般車がタクシーの停車・発車を妨げている」、「雨に濡れてしまう」といった意見が多かった。
西口広場の 路線バス及び 送迎バス乗降場の 利用しやすさ	路線バスは日常利用者 10.0%、観光利用者 7.8%、学生 5.3%が、送迎バスは日常利用者 13.3%、観光利用者 7.4%、学生 6.8%が、「利用しづらい」側の回答であり、「便数が少ない」、「乗降場の場所が分かりづらい」といった意見が多かった。
西口広場の 再編にあたり 必要な機能	日常・観光利用者、学生ともに「待ち時間を快適に過ごせる滞在空間」を求める回答が最も多かった。
西口の駅前に 求める施設	日常・観光利用者、学生ともに「カフェやファストフードなどの飲食店」を求める回答が多かった。
北条早雲像に ついて	・日常利用者 57.6%、観光利用者 46.8%、学生 47.8%が「必要」側の回答であった。 ・日常利用者 18.1%、観光利用者 11.5%、学生 14.0%が「不要」側の回答であった。 <「必要」の主な理由> ・小田原のシンボル、西口シンボルとして残すべき <「不要」の主な理由> ・広場の機能性、利便性を優先し、適切な場所への移設を望む
西口広場に 関して、使い づらいことや 課題	・日常・観光利用者からは、「ロータリーが狭く、車が多くて危険」、「雨よけの屋根やベンチ等の待機スペースが不足」といった意見があった。 ・学生からは、「交通量に対して道幅が狭い」、「買い物できる場所が少ない」といった意見があった。
西口広場の 再編に向けた 意見・要望	・日常・観光利用者からは、「一時停車スペースが少なく、送迎や短時間停車がしづらい」、「動線を分離し、歩車分離・車線計画を見直してほしい」といった意見があった。 ・学生からは、「ファストフード店などの気軽に飲食できる場所があったらいい」との意見があった。

4 概略設計での検討事項

今後、これらの調査結果を踏まえ、交通事業者や交通管理者、関係権利者等との協議を行いながら、西口広場等の概略設計を進めていく。

項 目	調査結果を踏まえた検討事項
西口広場の利用 に関すること	・ 指定場所以外で乗降させる一般車が多い点や、「一般車が公共交通の停車・発車を妨げている」といった意見を踏まえ、公共交通と一般車の動線分離の検討及びそれに伴う各乗降場の配置や必要なスペースの検討を行う。 ・ 歩行者の危険横断は、特に駅舎正面付近が多い点や、「一般車乗降場やバスプールから駅舎へ最短距離で移動できない」といった意見を踏まえ、安全で円滑な歩行者動線等の検討を行う。 ・ 広場に必要機能として、日常・観光利用者、学生それぞれが「待ち時間を快適に過ごせる滞在空間」を求めているため、オープンスペースや緑化空間などについて、検討を行う。 ・ 北条早雲像については、設置に至った経緯等を踏まえ、慎重に検討を行う。 ・ 整備を見据えた段階的な対策として、広場機能を確保しながら施工するための手順を検討し、各段階における課題を整理していく。 ・ 隣接敷地の建物計画を想定した交通広場と建物との平面利用や立体利用などの検討を行う。
西口広場に係る 交差点 に関すること	・ 車両と歩行者との交差などが混雑の要因と考えられるため、公共交通と一般車の動線分離に伴う交差点の位置や形状などについて、検討を行う。

東西の広場利用 に関すること	・平日は西口が3割、東口が7割、休日は西口が2割、東口が8割との東西広場の利用割合から、利用者の属性を踏まえた東西の機能分担の検討を行う。
雨天時の広場利用 に関すること	・雨天時は、より多くの車両が広場を利用することや、「雨よけの屋根が不足している」といった意見を踏まえ、混雑の緩和策や雨よけ施設の検討などを行う。